

(臨床研究に関するお知らせ)

香川大学医学部で法医解剖・検案を受けられた方の遺族の方々へ

香川大学医学部では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、法医解剖時に既に保存されている資料を用いる「後ろ向き研究」という臨床研究で、和歌山県立医科大学倫理審査委員会の承認を得ています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けて行うものです。すでに存在する資料を利用させて頂く研究ですので、対象となる方に新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

2020年1月1日から2023年3月31日までに法医解剖された方のご遺族で、研究への使用を拒否される場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

法医解剖・検案事例における COVID-19 関連死亡例に関する後ろ向き研究

2. 研究責任者および研究分担者

(研究責任者)

和歌山県立医科大学法医学講座 教授 近藤稔和

(研究分担者)

香川大学 医学部法医学 木下博之

旭川医科大学 法医学講座 清水恵子

岩手医科大学 法科学講座法医学分野 高宮正隆

東京都監察医務院 鈴木秀人

横浜市立大学 大学院医学研究科法医学 井濱容子

長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻社会医療科学講座法医学分野 池松和哉

鹿児島大学 法医学 林 敬人

福岡大学 医学部法医学教室 久保真一

3. 研究の目的

法医解剖・検案時に保存された資料は、司法当局から囑託された鑑定目的と同時に、死因の究明や身元の確認等の精度向上のための研究に使用させていただくことがあります。死因の究明や個人識別は、亡くなられた方の人権を擁護するだけでなく、事件や事故または病気の再発防止に役立てられ、社会の安全・福祉の向上に寄与します。法医実務（法医鑑定）において死因確定は最も重要な実務の一つであり、その際、客観性かつ正確性が求められることは言うまでもありません。

感染症の検査は法医学領域においても欠かせない検査の一つです。近年、COVID-19 感染拡大に伴うパンデミックな流行は、法医学領域でも注意が払われており、その死因との関連のみならず、解剖、検案従事者への業務感染の防止や、二次的感染の拡大の観点からも注目されています。しかしながら、我が国においてもまだ十分なデータはありません。さらに、COVID-19 感染防止のため、ワクチンの接種が進められているが、ワクチン接種後の急変に伴う死亡例の報告がされていますが、その頻度や詳細な内容についても、まだ十分なデータがありません。

そこで本研究では、香川大学医学部で実施した法医解剖・検案での、COVID-19 感染関連死亡例、COVID-19 感染検査の結果、陽性と判定された事例、および COVID-19 ワクチン接種後短期間のうちに死亡した事例について、法医解剖・検案における頻度とその背景要因を観察します。

法医解剖におけるこれらの基礎的データを収集し評価検討することで、感染拡大の防止や、ワクチン接種後の急変事例についての有意な情報が得られるものと考えます。

本研究に用いる資料は2020年1月1日から2023年3月31日までに行った法医解剖後すでに保存してあるデータであり、「後ろ向き研究」という臨床研究です。

4. 研究の概要

(1) 対象となるご遺体

2020年1月1日から2023年3月31日までに香川大学医学部法医学で法医解剖・検案を受けられた方の中から、COVID-19感染関連死亡例、すなわち解剖時また検案時のCOVID-19感染検査の結果、陽性と判定された事例、およびCOVID-19ワクチン接種後短期間のうちに死亡した事例を対象としています。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、法医解剖・検案後すでに保存してあるデータです。

診療情報：年齢、性別、死後経過時間、死因の種類、死因、薬毒物の定量及び定性、既往歴、検査結果（COVID-19検査）

(3) 方法

保管中の資料を用いて疫学的検討を行うものです。皆様の暮らしている社会や医学界に還元する意義が大きいと判断される事柄に関して、香川大学医学部では事例報告や医学研究として学会や紙上で発表させて頂くことがあります。

(4) 外部への情報の提供方法

利用する本学所持の法医解剖・検案データ等は、個人が特定できない状態とし、郵送及び電子システムを使用して、下記の研究組織へ提供します。

〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学法医学講座 教授 近藤稔和

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、法医解剖・検案を受けられた方を特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も法医解剖・検案を受けられた方の個人情報が公表されることはありません。

6. ご遺体の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、過去に法医解剖・検案された方のご遺族で研究への使用を望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、亡くなられた方のご遺族に不利益が生じることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

この研究は、厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）で実施します。本研究に対する企業等からの資金や利便の提供はありませんので、利害の衝突は発生しません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学法医学講座 担当医師 近藤稔和

TEL & FAX：073-441-0641

E-mail：kondot@wakayama-med.ac.jp

香川大学での連絡先

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部 人間社会環境医学講座 法医学 担当医師 木下博之

TEL：087-898-5111 内線2542 FAX：087-891-2141